

たいむ

Lead【ニュース】

7月がはじまりました。3週間の幼稚園実習を行っていた2年生が実習を終え、学校に活気が戻ってきました。6月は、学生ボランティアとして3名の学生が「たいむ」に入っていました。子どもたちと遊び、保護者の方々と関わるなかで実習とは異なる経験をしたようです。詳しくは、スタッフの東さんの記録をお読みください。

そして、6月は制作活動が多い月となりました。スタッフの特技と重なり、絵の具を使った制作は7月の「たなばた」につなげていくことになりました。

第2回 たいむを育てる会 議事録

2019年6月26日(水) 11:00-12:15

出席者:小池さん、柳さん、中嶋さん、宮崎さん、三浦さん、深山さん、木内さん、池谷、東

1. 6月のたいむについて

① 色水あそび・マブリング、小物づくり(プラ板・くるみボタン)、リズム室遊び

→楽しい活動なので、ある程度期間(小物づくりなら2週間程度)を設けて、数回参加したい。当日の朝、子どもの体調が悪くなり参加できないことがあるため。

② 2年生の学生ボランティアについて

→2年生が3名ボランティアに入ったことで、子どもたちはお姉さんと遊べることを楽しみにして「たいむ」に来ていた。学生も、継続して子どもたちとかかわることができる。

2. 7、8月のたいむについて

① セタかざり制作、流しそうめん

→流しそうめんには、夏休み中の小学生、石井先生も参加予定。今年はスタッフ、学生は事前に腸内検査を行う。

③ リズム室での活動、造形活動

→短大の教員との造形活動や暑い季節にもリズム室で思い切り遊びたい。

3. その他

① 「たいむ」の情報を更新したい

→ネットで「たいむ」について検索してもなかなか出てこない。短大のHPの情報も利用者にわかりやすくしたい。パンフレットは、現在、改訂中です。

② 学園内に入っても、「たいむ」の場所がわからない。

→「たいむ」の場所がわかるように学園内に掲示等できるか検討する。

③ 学園祭を楽しみにしているので、日程を早めに教えてほしい。

→学生によるポスターができあがる前に、日程だけでもお知らせできるようにする。

④ 昨年まで行っていた「ジャパンミートの1%クラブ」を再開してほしい。

→次回の申請に出せるように準備します

⑤ たいむ育ちの小学生が夏休み期間中に、学生と遊べるような企画があると嬉しい

→短大の授業が8月上旬までであるが、何らかの企画を考えてみたい。(運営委員さんと考えたアイデアとして、将棋・カードゲーム、UNO・ダブル、夏休みの宿題デー・自由研究を一緒に行うなど)

Episode【事例】

■学生とのかかわり■

6月に入り、たいむに遊びにきてくれる子どもたちと学生の触れ合う様子が見られるようになってきました。実習前に絵本を選びに来た学生が図書館で迷っている姿をみて、遊びに来た子どもたちに、「お兄さん、お姉さんがどの絵本が良いか迷っているから、皆が幼稚園で読んでいる絵本や、好きな絵本を教えてあげたらどうかな?」と声を掛けると、子どもたちは張り切って「私は、これが好き!」、「この本面白いんだよ!」と教えていました。学生たちにとっても、これから実習先で担当するクラスの年齢の子どもたちの意見が聞け、参考になったようで教えてもらった本を借りていました。



そして、荒井瑞希さん、大井結花さん、鎌田姫花さんの3名はボランティアとして、井上史央里さんは制作コーナーと電車・車コーナーの環境設定の手伝いをしに来てくれました。1歳・2歳くらいの子供たちは、初めのうちはお母さんの後ろに隠れ様子をうかがっていましたが、学生たちが他の子どもと遊んでいる様子を見るうちに、自分からおもちゃを渡したり、“描いて”とクレヨンを渡したりして距離を縮めていました。3歳以上になると、学生と遊べる事が嬉しくて、子どもたちから積極的に遊びに誘ってくれました。学生たちも、初めのうちは緊張した様子でしたが、日を重ねるごとに表情も柔らかくなり、子どもたちが帰った後、「今日は〇〇ちゃん、お母さんが離れていても、一緒に遊ぶことができた」、「ニコニコしている顔が印象的な〇〇くん、今日は泣く事が多くて驚いた」等、その日の子どもたちの様子を話すことが増えました。

実習では、子どもと先生のかかわりを目にすることが大半ですが、子どもと保護者のかかわりを間近に見られるのは、たいむならではの体験ではないかと思います。同時に、保護者の方から話しかけていただいたことで、学生たちも保護者の方と話しをするきっかけになり、自分からも質問したり、子どもの様子を共有できたりと自信に繋げることができたのだと思います。数年前の育ちあいのひろば通信で当時のスタッフが学生の参画について次のように述べていました。

先日、たいむ利用のお母さんより、「学生さんがたいむに遊びに来る意義とはなんですか?」「学生さんが遊びに来て、いつも遊んでくれるのは助かるんですけど、ふと思って…」という質問を受けました。確かに、授業で来室するのは勉強のためだと分かりますが、「短い休み時間にもわざわざ顔を出して、親子やスタッフに挨拶をしに来るのはなぜ?」「休み時間や空き時間に自らたいむに来るのはなぜ?」「どういう思いで学生が来室しているの?」と気になるころだと思えます。

…途中省略

千葉明德短大の学生たちは保育の勉強をしていますが、実際に乳幼児とかかわる・その保護者とかかわる機会はとても少なく、特に保育実習の際には保護者とかかわりは全くありません。少し勇気を出して、たいむに遊びに来る、廊下や図書館で子どもたちに声をかけるということは、学生たちにとってはとても勇気のいる行動だと思っています。スタッフ自身が学生の立場であったのなら、緊張や不安などで自分から親子が過ごす場所(たいむ)に行こうとは思いません。

たいむに遊びに来る学生、そうではない学生(室内には入って来ない)も、子どもたちとかかわり(を通して)➡お母さん方と少し話をする➡次に会った時に挨拶を交わす➡顔や名前を覚えてもらうなど、日々の小さな積み重ねがどんどん大きくなり、それぞれの自信に繋がっていきっていると実感しています。しかし、授業のように事前に準備をして企画当日に臨む活動とは全く異なり、自由な環境(遊ぶ・会話を楽しむなど)であるだけに、ハードルは決して低くはありません。

子どもと遊ぶことで、子どもたちの個々の成長や興味、関心の違い、かかわり方や声かけなど様々なことを学んでいけると思っています。また、人間ですから、子ども一人ひとりが違うように、保護者一人ひとりも違いますし、抱えている悩みなども十人十色だと思います。同時に、“たくさんの人たちとかかわることの難しさ”“保育者は子どもと遊ぶことだけが仕事ではない”“子育ての大変さ”“子どもたちの成長を保護者やスタッフと喜ぶ”など、授業ではないこの環境で、少しずつ認識しているようです。たいむで学生がお母さん方とかかわりをもつということは、大人としての社会性を身につけられる重要な場所だとも感じており、身近な大人として、生活態度の注意やアドバイスをしてくださることもあります。スタッフからではない、お母さん目線のアドバイスはとても身に染みるようです。

女子は「たいむに行きたいけど緊張する」「どのタイミングで遊びに行けばいいのかわからない」と、スタッフの所にやって来ますが、そういった時に「いつでもいいよ」「お母さんがいて緊張するのは当たり前。だから、子どもと遊ぶことを楽しめばいいよ」などと話しています。スタッフが仲立ちをすることで、少しでも安心して足を運びやすく出来るように心がけています。授業での体験から学ぶこともたくさんありますが、授業とは違う角度からの学びもあり、学生たちの姿から、自分自身の姿を振り返るよい時間にもなっています。

数年前の通信ではありますが、この文章を読んで保護者の方たちの支えが、学生の育ちに大きく影響しているのだと思いました。私も学生と話していると、「たいむへ遊びに行きたいけれど、緊張する」、「どのように入っていけばよいか分からない」と言われます。しかし、たいむに遊びに来た学生は、「子どももそうだけど、お母さんたちも温かく迎えてくれて、安心した」と話す子がほとんどです。ほんの少しの勇気を出して遊びに来られる様、私も様々な角度から学生がたいむへ遊びに来るきっかけ作り、“育ちあいのひろば”として学生も遊びに来られればと思います。

Report 【報告】

◇学生ボランティア◇



3名の学生がボランティアとして約3週間たいむに学びに来てくれました。

今回初めてたいむでボランティアをして、最初たいむに入る時は緊張しましたが、次第に緊張する気持ちもなくなっていました。子どもたちも初対面のため警戒しているような感じもありましたが、毎日たいむに入っていくうちに少しずつではありますが子どもたちとの距離が縮まったように感じました。

また、たいむに来るお母さんたちもとても優しく、お母さんたちの方から話しかけてくれたりしてとても嬉しかったです。毎日たいむに行くのがとても楽しかったです。授業がまた始まってしまおうので行ける回数は減ってしまうかもしれませんが、空いている時間などがあれば、遊びに行きたいと思います。イベントなどがあれば積極的に参加したいと思います。

荒井瑞希

今回、たいむに入り子どもとかかわることはもちろん、保護者の方とかかわることが出来たので、実習とはまた違った経験ができ、多くのことを学びました。

親と子の関係や、子ども同士の関係を間近でみることでできたので良かったです。

保護者の方の子育ての話や、今までの経験等も話してくださいました。イベント等もあり、大人も子どもと一緒に楽しめて良かったです。

鎌田姫花

たいむは「子ども中心の場所」というイメージが強かったのですが、入ってみると、子どもだけではなく、保護者の方も一緒に楽しめる場所なのだと気づきました。

くるみボタンやプラバン、にじみ絵など、普段できないことがたくさんでき、とても楽しかったです。

大井結花



◇水あそび始まっています◇



6月6日よりあそびが始まりました・・・が、お天気や他のイベントと重なり、初日しか水あそびができていません。まだ、しばらく梅雨空が続きそうですが、水あそび本番はこれから!大きなプール以外にもトライを出していますので、「水あそびデビューをしてみたい」、「お水がちょっと苦手…」など、そんな子どもたちも、少しずつ始めてみませんか。プールが終わった後は、みんなで畑の作物にお水をあげたり、片付けも子どもたちが率先してやってくれています。家で準備するのは大変ですが、ここではみんなの手を借りて楽しむことができます。

*「まいペーす・まいすぺえす」の時間を除き、8月いっぱい暑い日は行う予定です。詳しくは、毎月の予定表をご覧ください。

◇プラバン制作◇

プラバン、くるみボタン制作を6月17(月)~21日(金)に行いました。実は、スタッフは初めてプラバンを行いました。お母さん方に教わりながら、出入り口の扉に“きんぎょがにげた”の飾りを作りました。初めてのお母さんたちも、経験者に教わりながら、夢中になっていました。また、親子で制作する姿も見られ、父の日のプレゼントを作っている方もいました。



くるみボタンも、子どもの髪につけた時にどの大きさが可愛いかな、柄の出かたを考えながら型に合わせるなどし、出来上がったくるみボタンにゴムを通し、次の日にお子さんの髪飾りとして付けている方がいました!親子やお母さん同士で楽しみを見つけ、リフレッシュのきっかけになればと思います。

今回、一週間の期間を設けましたが、「夢中で楽しめた。」「もう少し期間を長く実施してもらえると・・・。」と、ご要望をいただきましたので、第二弾もできればと思っています。

◇リズム室あそび◇



昨年も大好評だったリズム室あそび(短大2号館、附属幼稚園に隣接)を行いました。今年度は初めてという事で、0歳から3歳の子どもの発達に合わせて平均台を渡る、はしごを登る、またぐ、ジャンプする、マットで転がる、トンネルをくぐる、滑り台を滑るなど簡単なサーキット形式を用意しました。慣れたたいむの部屋とは違うため、入るのをためらったり、お母さんにピタッとくっついたまま離れられなかったりもしましたが、一人があそび始めると、つられて「次はあっち!」とお母さんの手を引っ張っていました。友だちの遊ぶ姿を見て、“自分もやりたい”と刺激を受けている姿が多く見られました。

回数を重ねるごとに高低差をつけるなど子どもたちの様子に合わせて変化させ、静の活動ばかりではなく、動の活動も織り交ぜながら子どもたちの育ちにつなげていければと思います。

◇にじみ絵・マーブリング体験◇



梅雨ということもあり、天気が心配でしたが、どうにか予定していた日に行うことが出来ました。にじみ絵は、コーヒーフィルターに水性ペンで描き、筆で水を垂らすと、色と色がにじみ合い、素敵な柄に!

一方、お母さんたちは、マーブリング液で和紙を染めました。一回行うごとに様々な模様が出てくるので、色の組み合わせを変えたり、息を吹きかけて歪めたりと、夢中で染めていました。

今回、マーブリングで染めた和紙は、7月の七夕の短冊と飾り作りで使用します。お手に取った際は、模様を楽しんでくださいね。そして、コーヒーフィルターのにじみ絵は、今回参加出来なかった方もいらしゃったので、水あそびを行う日に、外にコーナーを設置しますので、お楽しみください♪



◆七夕飾りを作ろう◆



年に一度の七夕に、親子で素敵な願い事をしませんか。
いつでも、誰でも飾りや短冊が書けるようにコーナーを設けます。短大入口の笹に皆さんで作った飾りを飾ります！（短冊はラミネート加工しますので、飾った後は記念にお持ち帰りいただけます。）

【日時】7月1日（月）～7月4日（木）（期間が短く、申し訳ありません）

【時間】開室時間中

◆夏だ！今年もやります！流しそうめん大会◆

池谷先生・田中先生ゼミの学生とたいむがコラボし、流しそうめん大会を行います！当日は、石井先生も応援に駆けつけてくれるかも？！

開催に先駆け、人数把握のために予約受付を7月16日（火）～7月23日（火）で行います。予約方法は、たいむ受付に置く予約受付名簿、facebookのコメント、電話です。参加費は、当日現金でお支払いください。



なお、当日は大勢の方の参加が見込まれます。食中毒予防のため、体調の悪い方のご参

加はご遠慮いただきますよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



【日 時】 7月26日（金） 12:00-14:00

【場 所】 短大 中庭にて受付

【参加費】 大人 300円 子ども 100円

※ おつりの無いようにご準備ください

【持ち物】 箸、茶碗、フォーク、着替えなど各自必要なもの

◆短期大学の学園祭へあそびに来ませんか？◆

8月4日（日）に短期大学にて学園祭が行われます。当日は、学生たちが楽しい、美味しい企画をたくさん用意していますので、ぜひお越しください！たいむスタッフも池谷先生ゼミの学生とコラボしてお待ちしています。

※詳細につきましては、決まり次第たいむの掲示板及びfacebookにてお知らせいたします。

◆たいむの夏季休業期間について◆

短期大学の夏休みに伴い、8月13日（火）～8月16日（金）はたいむ閉室となります。

通常開室は8月19日（月）のおよこのじかんからとなります。（その他の予定は、8月号にてお知らせします。）

◆学生による「うたとおはなしのひろば」◆

7月から、池谷先生のゼミ生による「うたとおはなしのひろば」が下記日程で再開します。わらべうたや紙芝居などを行います。ぜひ、親子でご参加ください。



【日 時】7月17日（水）、24日（水）、31日（水）

各日 13:00～13:20

【場 所】短大 図書館


7月の予定

月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
★   おやこのじかん 七夕制作 →	 ★ 	 ★ 	 ★ 	まいぺーす・ まいすぺえす	休み
8	9	10	11	12	13
★   おやこのじかん ※13時以降 スタッフ不在	 ★ 	 ★ 	 ★ 	まいぺーす・ まいすぺえす	休み
15	16	17	18	19	20
休み	 ★  流しそうめん大会 予約受付期間 →	 ★  13:00~13:20 うたとおはなしの ひろば	 ★ 	まいぺーす・ まいすぺえす	休み
22	23	24	25	26	27
★  おやこのじかん →	 ★ 	 ★  13:00~13:20 うたとおはなしの ひろば	 ★ 13:30~16:00 まいぺーす・ まいすぺえす	12:00~14:00 流しそうめん大会	休み
29	30	31			
★  おやこのじかん	 ★ まいぺーす・ まいすぺえす	 ★  13:00~13:20 うたとおはなしの ひろば			

…オープンスペース(10:00-16:00) おやこのじかん…予約制 …水遊びの日

★…パン屋さんの日:月(父の樹会)火(ゆめ工場)水(café Yori-michi)木(はーとやのパン)

*授業の関係で来校しない場合があります。

7月のNo car day…()の日は、附属幼稚園行事のため、附属幼稚園の保護者が東門駐車場を利用します。来室される際は、できるだけ公共交通機関等をご利用ください。

7月の休業日…5日(金)(急遽、予定が変更になる場合がありますのでご了承ください)※営業時間11:30~13:30

千葉明德短期大学 育ちあいのひろば たいむ 【たいむ・おやこのじかん TEL】 043(332)2103

【住所】〒260-8685 千葉市中央区南生実町1412 【短大代表番号】043(265)1613

【E-mail】oyako@chibameitoku.ac.jp

【HP】<http://www.chibameitoku.ac.jp/tandai/hotstation/hotstation.html>

【Facebook page】<https://www.facebook.com/hottostationtime>